

役場庁舎整備に関する住民説明会を実施します

現在、町では役場庁舎が耐震性の不足や老朽化の問題を抱えていることから、庁舎整備について検討を進めています。本年4月から5月に開催した町政懇談会において、「役場庁舎整備の基本的な考え方」について説明させていただきました。

その際のご意見等を踏まえて、さらに庁舎の位置や概算事業費等についての比較検討資料をまとめましたので、下記により説明会を実施します。ぜひ、大勢の皆さんにご参加いただき、ご意見をお聴かせください。

期日	時間	会場
9月14日(金)	19:00～	両神振興会館(両神庁舎3階)
9月19日(水)	19:00～	赤谷温泉小鹿荘
9月21日(金)	19:00～	藤倉集会所
9月26日(水)	19:00～	長若生活改善センター
9月28日(金)	19:00～	小鹿野文化センター

※対象区域の指定はありませんので、都合の良い会場でご参加ください。

問合せ●小鹿野庁舎・総務課 ☎75-1221

こんにちは。
町長です。



台風等の災害に備えて「備えあれば憂いなし」

8月も大変暑い日が続きましたが、町民の皆様にはご健勝のことと存じ上げます。

さて、7月、8月と台風の襲来が続きました。7月28日から29日にかけて接近した台風12号では、町は避難所の開設を行うとともに「避難準備・高齢者等避難開始」を発令させていただきました。この発令内容は、人的被害が発生する可能性があるため、避難に時間を要する方は避難を開始し、それ以外の方には避難の準備を呼びかけるものです。

町では、5カ所の避難所(小鹿野文化センター、般若いきいき館、武道場、藤倉集会所、両神庁舎)を開設し、避難をされる方を受け入れました。これらの避難所に避難された方は、一番多いときで59名にのぼりました。

避難所開設にあたっては全区長に電話で連絡するとともに、避難所の開設、避難準備・高齢者等避難開始の発令を防災無線、ちちぶ安心・安全メール、小鹿野町公式LINE、広報車での案内を行いました。さらに体の不自由な方など支援が必要な方には、直接電話で確認を行うなど色々な伝達手段を活用して町民の皆様へ呼びかけを行いました。

この発令を町民の皆様がどれだけお聞きになったか、

また理解をされたのかについて町は把握出来ておりません。恐らく防災無線等が雨の音で聞こえなかった方もいらっしゃるでしょう。また、多くの方は自分の家は大丈夫であると判断し避難をされなかったと存じます。

避難準備をどれだけの町民の皆様がされたのかについても町は把握出来ておりません。町民の皆様へ避難等の情報が正しく伝達されたかの分析検証を町として行う必要があると思います。

7月の西日本豪雨の際には、逃げ遅れたとみられる犠牲者が多く出ました。その中でも自主防災組織の役員らが各戸を回って住民の全員避難に結びつけた事例があったとお聞きしております。

どうしても町役場の職員だけでは呼びかけや対応だけでは限界があり、やはり基本は「自分の命は自分で守る」という意識の徹底や、地区住民の協力連携による助け合いが大事であると思います。

昨年度、町内各世帯に「平成29年度小鹿野町土砂災害ハザードマップ」をお配りしてございます。是非、ご一読いただきたいと存じます。

これからは、今まで大丈夫だから安全だろうという意識は払拭していただき、想定外のことも起こる可能性があるという気持ちで台風などの自然災害に対応していただきたいと存じます。

小鹿野町長 森 真太郎

町長の まち・ひと・しごと 魅力発信

～ 事業所訪問 vol.6 ～

「両神林産加工株式会社」

町内には、優れた技術を持った会社が多く存在します。事業所の持つ技術や魅力を町長自ら訪問して、目で見て、お話を伺い、住民に情報発信する「事業所訪問」を連載します。



左から森町長、今井社長

町長の見て・聞いて・話して

第6回の事業所訪問は、7月5日に両神林産加工株式会社を訪問し、今井敏夫社長にお話を伺いました。

両神林産加工(株)は、昭和22年(1947年)の創業当時、秩父の山々から豊富に切り出される丸太を製材し、住宅建築用・木材パレット・ウッドチップ等に加工することから始まりました。木材加工業を継続しながら、時代のニーズに合った事業展開を模索する中で、平成9年(1997年)に主力事業となるプレカット事業部を設立しました。

プレカット加工とは、木造住宅の柱や梁の継ぎ手、仕口を従来は墨付けに従って手工具で加工していたものを機械で行う技術であり、木造住宅の設計から木質建材の加工まで、すべての工程がコンピューター化されていました。

1万㎡の広い敷地内には、住宅の設計資料により指定された材料を1本1本拾い集める作業現場やプレカット加工作業場があり、加工完了製品はビニールで梱包され、棟分の製品がまとめて管理されていました。



今井社長から生産工程の説明を受ける森町長

会社概要

代表者 代表取締役社長 今井敏夫
従業員数 47名(姉妹会社含む)
創業 1947年7月
所在地 小鹿野町両神小森524
電話 0494-79-1155

社員の地元の雇用率は高く、社員層が若く定着しているのは社長の社員への思いがあるからと感じられ、社員も業務に真剣に取り組んでいる姿があり、意識の高さを感じました。

先代から引継ぎ創業70余年、社員とともに地場産業にこだわり、常に未来を見据えた考えを兼ね備え、木のぬくもりのように地元をこよなく愛する企業であると感じました。

わが社の主力製品

わが社の主力事業部のプレカット生産工程は、木造住宅の平面図や立面図を元に加工データをCAD入力し、その情報をCAMに転送して、自動的に切削することで加工精度の高い柱や梁、羽板材等を生産することができます。主に埼玉県の大手住宅建築事業者のプレカットを扱い、1カ月あたり25棟から30棟分を生産しています。プレカット加工用の資材は内地材が多く、柱と柱の間に使う間柱や破風板はできるだけ秩父産の杉を使用しています。



写真上:木拾い作業
写真下:プレカット加工は使用目的別の機器で全てコンピューター制御により全自動で稼働しています。

ここに自信あり

町内には関連する姉妹会社があります。建築資材販売の日建木材株式会社、菓子製造業の秩父デザート株式会社などさまざまな業種において、互いに切磋琢磨しあい、地元密着型の事業を展開しています。秩父デザート株式会社では秩父産の食材を使った「秩父プリン」等の販売を行っており、姉妹会社と連携して、秩父産木材の活用促進のみならず、広く地元資源の活用に取り組んでいます。